

## 災害も戦も

和歌連作の部屋 百首歌集 2014/7/13-2015/9/25

- 9001 災害も戦も哀し人の世の定めと知りつ星に祈れり（やんま）（7月13日 21時01分）
- 9002 数年の存続なりし国民学校われら卒えたり軍歌おぼえて（水）（7月14日 17時18分）
- 9003 戦争の体験談を話したす今こそ眠れる老人パワー（くりおね）（7月15日 07時25分）
- 9004 東京は焼土の街よ母の手にすがりすがりて生き延びて来し（やんま）（8月3日 08時36分）
- 9005 晴着つけ勅語を聞きし敗戦日口惜し涙にまじり安堵が（真奈）（8月15日 17時50分）
- 9006 集团的自衛権やら特定の秘密保護法日本どうなる（白馬）（8月15日 20時47分）
- 9007 地震嵐土砂災害と荒れ狂ひ温暖化する神風の国（やんま）（9月1日 17時39分）
- 9008 大洋より我が島々へ上陸する台風の奇襲戦時を思う（水）（9月2日 09時06分）
- 9009 台風の去りし峠に数列の紫式部日に輝けり（弁慶）（9月10日 12時14分）
- 9010 空青きある日突然炎上す天変地異に覚悟有る無し（やんま）（10月3日 21時28分）
- 9011 台風の上陸予報の今日の空かなしきことの救ひはあるや（れん）（10月5日 12時06分）
- 9012 長き夜皆既月食不思議なりだんだん消えてだんだん増える（白馬）（10月8日 22時51分）
- 9013 ふるさとを語る夜もすがらなきままに逝きたまふきく山下氏はも（れん）（10月23日 21時43分）
- 9014 アリバイに七分の時差夜の街十津川警部襟立ててゆく（やんま）（11月3日 12時44分）
- 9015 雲切れ間閏九月の十三夜病める我が星照らせよ照らせ（寂）（11月6日 21時10分）
- 9016 星辰の信仰もあり九翟紋はたとかすめるユングの世界（れん）（11月15日 21時39分）
- 9017 吾が生は遠き先祖の血の流れ無意識界に翻弄されて（白馬）（11月24日 21時21分）
- 9018 生命の進化の過程辿り来て今日の我あり海鼠ではなく（やんま）（12月3日 05時14分）
- 9019 普通とは大切なれるえとせとら生命(いのち)の汀(みぎわ)にたちてし思ふ(れん)（12月18日 00時47分）
- 9020 生命とは何かと問えば生きることと応えし初日（はつひ）無明盡無し（白馬）（1月4日 16時40分）

- 9021 おろかゆえただぼうぼうと流離はば夢に現に不整脈聴く（やんま）（1月4日 22時37分）
- 9022 かの空の青を掬いて染めあげる白きスカーフ夢のあとさき(寂）（1月8日 10時43分）
- 9023 南（みんなみ）の空青くして風もなし遥かに見える天城連山（弁慶）（1月24日 23時11分）
- 9024 故郷の山川見たしあの女とされど今では行くあてもなし（白馬）（1月25日 21時05分）
- 9025 浅草に生まれ柴又育ちなり馬鹿おっちょこちょいの産湯浸かれる（やんま）（2月1日 12時36分）
- 9026 菜の花や花小金井の駅の傍君住みし家の跡形も無し（弁慶）（2月4日 22時11分）
- 9027 和歌の跡尋ね連ねむ半年も一瞬のごと万世に至る（丹仙）（8月24日 23時00分）
- 9028 目つむれば背筋伸ばせし君が影去年の渚を語り歩きし（やんま）（8月25日 19時00分）
- 9029 祝う日か弔う日かと自問しつつ南瓜を食めり終戦記念日（水）（8月26日 10時25分）
- 9030 戦争はいやだとはっきり意思表示できる自由はいつまでつづく（くりおね）（8月27日 20時46分）
- 9031 戦なき世の幸せや気の置けぬ仲間集ひて飲むは歌ふは（ぼくる）（8月28日 15時29分）
- 9032 初秋の語りては聴く宵闇にまさかまさかのぼくる絶唱（やんま）（8月28日 15時58分）
- 9033 蒼天も大地も消ゆる宵闇に二人が唄ふイムヌ・ア・ラムール（丹仙）（8月28日 17時02分）
- 9034 初めての歌声聞きて驚きぬ原語で合唱素敵な仲間（白馬）（8月28日 23時12分）
- 9035 つぶやきがポリフォニーとなる美しき宵愛と平和を歌ひ継ぐらん（真奈）（8月29日 06時29分）
- 9036 静かなる森に泉の湧きにけり孫末代に豊かな自然（くりおね）（8月29日 09時36分）
- 9037 シャンソンの調べに酔ふて宴果てぬ銀座の真中夢かとまがふ（寂）（8月29日 10時03分）
- 9038 来し方も行く末も闇ただ観るは夢と現と今ある命（やんま）（8月29日 20時10分）
- 9039 わらべ唄都々逸歌ふ両親と同じ事せり我が初孫に（ひつじ）（8月29日 22時16分）
- 9040 スーパーに曲の流れて歌いだす音の高さを微調整して（くりおね）（8月30日 08時04分）
- 9041 晩夏光メタルロックの始まりて All that Remains 港長崎（丹仙）（8月30日 08時57分）
- 9042 少年の岬に立ちて叫ぶなり愛しき夏を今送りてむ（シナモン）（8月30日 10時41分）
- 9043 少年の旅立つ姿輝けり老漢われも生きて旅せむ（ぼくる）（8月30日 11時49分）

- 9044 少年の眼差し眩し夏の日の通り過ぎゆく夕凧の浜 (寂) (8月30日 15時03分)
- 9045 「ひもじい」と「はらがへった」の違い問う少年に話す戦時の飢餓を(水)朝日歌壇6月29日より、自作(8月30日 15時30分)
- 9046 少年が青年になる酒を酌み悩みひたすら恋物語(ひつじ)(8月30日 18時46分)
- 9047 戦争に生まれ戦後を生きて来しいろいろあつて明日を信じる(やんま)(8月30日 19時53分)
- 9048 そよ風に林檎の歌の響合へば明日に目覚むる焼跡の人(丹仙)(8月31日 06時57分)
- 9049 北明かりメイクインなどあまつさえ爵位を持てる芋作る人(シナモン)(8月31日 09時16分)
- 9050 後継ぎのをらぬ農家の次男生れ定年まえの帰農決めたる(ひつじ)(8月31日 19時25分)
- 9051 空爆の止みし月夜に畑おこし芋蔓植えた十歳の夏(水)朝日歌壇8月16日より、自作(8月31日 20時06分)
- 9052 耳朶を撃つB29帝都へと日誌の今を繋ぐ寸心(丹仙)西田幾多郎没後70年に寄せて(9月1日 07時42分)
- 9053 アメリカの物理学者を結集しマンハッタンの計画進む(くりおね)(9月1日 09時35分)
- 9054 アメリカの匂い響きの伯父貴逝くキラキラ話す東京五輪(ひつじ)(9月1日 15時45分)
- 9055 蛤と化した雀エンブレム黙して五輪はなしにならず(丹仙)(9月2日 06時55分)
- 9056 五輪までカウントダウンとどこおる次はどこから火の手があがる(くりおね)(9月2日 09時33分)
- 9057 涼しさも昨日までとよ今朝暑し近頃はやる白紙撤回(シナモン)(9月2日 16時24分)
- 9058 君いつもともかくにも一方的婚約破棄は倍返しなり(ひつじ)(9月2日 23時10分)
- 9059 秋霰雨霽れて参加の若人が口ずさみたるは民衆の歌(丹仙)(9月3日 07時24分)
- 9060 現地入り三々五々に参加する米粒ほどの人のうごめく(くりおね)(9月3日 07時53分)
- 9061 3万人20万人いずれにせよ今の政治を憂ひてデモる(白馬)(9月3日 23時48分)
- 9062 人口は練馬大田区拮抗せり地球の点に過ぎずも平和(ひつじ)(9月4日 07時06分)
- 9063 民族の他者に對する罪ありき懺悔廻心は平和への道(丹仙)(9月4日 07時26分)
- 9064 あやまちを繰り返しつつ人間の業の深きを思い知るなり(くりおね)(9月4日 08時20分)
- 9065 かつて住みし北欧の秋清涼ならん平和の園へとどけ九条(水)(9月5日 10時11分)
- 9066 露草の夜にひかりしそのときに命の歌の詩人逝きけり(丹仙)東條歌一の命日に(9月5日 19時11分)

- 9067 南洋へ想ひ再び移民なり戦さ逃れて我れ生まれたる（ひつじ）（9月5日 21時18分）
- 9068 分類が差別意識をうみだせり地球はひとつ人類はひとつ（くりおね）（9月6日 10時10分）
- 9069 桶の底抜けて朝顔輝きぬ差別超えたる自然そのまま（丹仙）（9月6日 13時09分）
- 9070 旅人の桶の行く先飯盛塚語り継ぐ世や男尊女卑（ひつじ）（9月7日 13時43分）
- 9071 生命の始原はひとつ同源なれど差別化好む人類かなし（水）（9月7日 14時55分）
- 9072 音を聴き色見る刹那自他共に一なる世界披く無の場所（丹仙）「純粹経験」を詠む（9月7日 20時49分）
- 9073 究極の「無」の形追ひ石に対ふ老マエストロ齡九十（シナモン）（9月8日 01時42分）
- 9074 純粹とはいかなるものぞ自然には空に太陽の光の満ちて（くりおね）（9月8日 10時02分）
- 9075 純粹の素（しろ）き光はプリズムを透りて森羅万象の色（丹仙）（9月8日 16時57分）
- 9076 自転車のライトの放つLED屋の暗さも漕ぐたびに点き（ひつじ）（9月8日 22時24分）
- 9077 自己流の晩学なれば枕にて自由自在に灯りむさぼる（やんま）（9月9日 23時34分）
- 9078 毫碌も創造なるや Let It Go 不滅の滅説く白頭の翁（丹仙）Whiteheadの最終講義を詠む（9月10日 08時29分）
- 9079 文字忘れ言葉の出ない老いなげく八十路の友は酌めば快弁（水）（9月10日 08時57分）
- 9080 耳元で君囁きしかのことは文字に描けば愛の一文字（弁慶）（9月10日 20時13分）
- 9081 懐かしき君との出会い忘れじと仰げば赤き紅葉こそ散れ（白馬）（9月10日 23時22分）
- 9082 婚活を宣言したる去りし君脱原発のエネルギー消ゆる（ひつじ）（9月10日 23時55分）
- 9083 同じこと眞實なれば繰り返し繰り返し説く君退職す（丹仙）小出裕章氏最終講演に寄せて（9月11日 08時01分）
- 9084 生涯を貫く闘志哲学をもため科学は未来犯罪（くりおね）（9月11日 10時36分）
- 9085 多様性認めてひらく未来なれ吾も尊し彼も尊し（ぼくる）（9月13日 17時42分）
- 9086 新月や楼蘭沈む風の紋今日より時は過去へ旅立つ（丹仙）ぼくるさんの旅立ちを祝して（9月13日 19時48分）
- 9087 古稀過ぎの壮行会の新酒酌むはるばると行くタクラマカンよ（ひつじ）（9月13日 20時49分）
- 9088 休刊日月曜の目覚め虚ろなり活字ほしがる我が依存症（水）（9月14日 08時08分）
- 9089 何にでも「活」をつけゐることはやり吾に残るは「生活」ひとつ（シナモン）（9月14日 10時30分）

- 9090 親鸞に学びし君の懺悔かな死して復活往還の道 (丹仙) 田辺元の戦後を詠む (9月14日 22時21分)
- 9091 軽井沢隠れ棲みたる君のもと恵信の如く文まゐらす人 (彰) (9月16日 08時36分)
- 9092 庭球にロイヤル婚の軽井沢半世紀前の保養所ブーム (ひつじ) (9月16日 13時04分)
- 9093 戦争に深い反省国民の象徴として頭を垂れる (くりおね) (9月20日 11時47分)
- 9094 黄泉下ることも厭わぬ菩薩行夜鷹の星は天に輝く (丹仙) 宮沢賢治の命日に (9月21日 21時36分)
- 9095 子供らに美味きトマトを振舞はむ下ノ畑ニ賢治居リマス (彰) (9月22日 21時10分)
- 9096 赤く熟れわき芽のそだつミニトマト凝縮された味のはじける (くりおね) (9月23日 08時15分)
- 9097 農家訪ね着物一枚差し出しぬ母は哀しも飢えたる吾ゆえ (シナモン) (9月23日 11時24分)
- 9098 その日にて労苦は足れり野の花を見よと友なるイエス語りし (丹仙) (9月24日 14時41分)
- 9099 しゃがみこみテントウムシをみていれば腹のふくれるカマキリ肩に (くりおね) (9月25日 01時25分)
- 9100 蚤虱馬の尿する枕元ここにも神の歩む道あり (彰) (9月25日 09時42分)